

シラバス

指定番号 173

商号又は名称：公益社団法人大阪聴力障害者協会

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	① 介護職の内容を理解する ② 制度を知ってもらう			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	2.5	2.5		介護と介護保険制度の意義 多様なサービスと介護職の仕事内容・働く現場 《演習》 グループディスカッション 発表
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3.5	3.5		介護職の資格体系の見直し キャリアパスの全体像
③				
④				
⑤				
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	公益財団法人介護労働安定センター 介護職員初任者研修テキスト パワーポイント
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 173

商号又は名称：公益社団法人大阪聴力障害者協会

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	① 権利について理解 ② 介護の制度を知る			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	4	4		人権と尊厳の保持 I C F Q O L ノーマライゼーション 虐待予防・身体拘束禁止 個人の権利を守る制度の概要 《演習》 グループディスカッション 発表
② 自立に向けた介護	3	3		自立支援 介護予防
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2		人権について 人権に関する啓発 (障害者・男女共同平等・高齢者などの幅広く関する啓発)
④				
⑤				
(合計時間数)	9	9	0	

使用する機器・備品等	公益財団法人介護労働安定センター 介護職員初任者研修テキスト パワーポイント
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 173

商号又は名称：公益社団法人大阪聴力障害者協会

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	① 安全を守る ② 緊急対応			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1	1		介護環境の特徴 介護の専門性 介護に関わる職種
② 介護職の職業倫理	2	2		法令遵守 利用者の個人の尊厳と介入 日本介護福祉士会の倫理綱領
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	2		介護における安全の確保 事故予防・安全対策 緊急時に必要な知識と対応方法 感染症対策 《演習》 グループディスカッション 発表
④ 介護職の安全	1	1		介護職の心身の健康管理
⑤				
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	公益財団法人介護労働安定センター 介護職員初任者研修テキスト パワーポイント
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号173

商号又は名称：公益社団法人大阪聴力障害者協会

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	① 制度を知る。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3	3		創設の背景と目的・動向 仕組みと基礎的理解 財源、組織・団体の機能と役割 医療保険制度の概要 年金保険制度の概要
② 医療との連携とリハビリテーション	3	3		高齢者の服薬と留意点 経管栄養、吸引、吸入、浣腸など 健康チェック 訪問看護 リハビリテーション医療の意義と役割 リハビリテーション医療の過程 訪問・通所・地域リハビリテーション
③ 障害者総合支援制度およびその他制度	3	3		制度創設の理念・背景と目的 制度の仕組みと基礎的理解 個人の権利を守る制度の概要 《演習》 グループディスカッション 発表
④				
⑤				
(合計時間数)	9	9	0	

使用する機器・備品等	公益財団法人介護労働安定センター 介護職員初任者研修テキスト パワーポイント
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 173

商号又は名称：公益社団法人大阪聴力障害者協会

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	① 利用者・家族への対応 ② チームの共有する			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	3		コミュニケーションの意義と目的、役割 コミュニケーションの手段と技法 利用者・家族への対応の基礎知識 利用者・家族への対応の実際 利用者の状況・状態に応じた対応 《演習》 グループディスカッション 発表
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	3		記録による情報の共有化 報告・連絡・相談 コミュニケーションを促す環境
③				
④				
⑤				
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	公益財団法人介護労働安定センター 介護職員初任者研修テキスト パワーポイント
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 173

商号又は名称：公益社団法人大阪聴力障害者協会

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	① 老年期について理解する ② 病気と生活についてを知る			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うところとからだの変化と日常	3	3		老年期の発達と心身の変化の特徴 心身の機能の変化と日常生活への影響 《演習》 グループディスカッション 発表
② 高齢者の健康	3	3		高齢者の疾病(老年症候群)と生活上の留意点(外科系) 高齢者に多い病気と生活上の留意点(内科系)
③				
④				
⑤				
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	公益財団法人介護労働安定センター 介護職員初任者研修テキスト パワーポイント
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 173

商号又は名称：公益社団法人大阪聴力障害者協会

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	① 認知症について理解する。 ② 家族との関わり方を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1	1		認知症ケアの理念
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	2		認知症の概念と原因疾患・病態 原因疾患別ケアのポイントと健康管理
③ 認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	2	2		生活障害、心理、行動の特徴 利用者への対応
④ 家族への支援	1	1		家族との関わり方
⑤				
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	公益財団法人介護労働安定センター 介護職員初任者研修テキスト パワーポイント
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 173

商号又は名称：公益社団法人大阪聴力障害者協会

科目番号・科目名	(8) 障害の理解			
指導目標	① 障害に関するものを理解する。 ② 心理、かかわり支援の理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障害の基礎的理解	1	1		障害の概念と ICF
② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、関わりの支援等の基礎的知識	1	1		肢体不自由 内部障害 視覚障害・聴覚障害 音声・言語・咀嚼機能障害 精神障害 統合失調症 躁うつ病など 神経症性障害 アルコール依存症 知的障害 発達障害 ダウン症 高次脳機能障害
③ 家族の心理、関わり支援の理解	1.	1.		家族の心理・かかわり支援
④				
⑤				
(合計時間数)	3	3		

使用する機器・備品等	公益財団法人介護労働安定センター 介護職員初任者研修テキスト パワーポイント
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号173

商号又は名称：公益社団法人大阪聴力障害者協会

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	① こころとからだのしくみについて理解する ② 実習(研磨する)			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学 学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
ア、基本知識の学習				
① 介護の基本的な考え方	3	3		理論に基づいた介護 法的根拠に基づく介護
② 介護に関するこころのしく みの基本的理解	4	4		学習と記憶に関する基礎知識 感情と意欲に関する基礎知識 自己概念と生きがい 老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因
③ 介護に関するからだのしく みの基礎的理解	4	4		健康チェックとバイタルサイン 骨・関節・筋肉に関する基礎知識 中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 自律神経と内部器管に関する基礎知識
イ、生活支援技術の講義・演習				
④ 生活の家事	6	6		生活と家事 家事援助の基礎知識と生活支援 家事援助の技法 ベッドメイキングの必要な基礎知識と方法
⑤ 快適な居住環境整備と介護	6	6		快適な居住環境に関する基礎知識 介護保険による住宅改修 福祉用具に関する基礎知識 《福祉用具》
⑥ 整容に関連したこころと からだのしくみと自立に向け た介護	6	6		整容に関する基礎知識 整容の支援技術 《演習》 衣服の着脱支援方法など
⑦ 移動・移乗に関連したこ ころとからだのしくみと自立 に向けた介護	6	6		移動・移乗に関する基礎知識 移動・移乗のための用具と活用方法 負担の少ない移動・移乗と支援方法 移動と社会参加の留意点と支援 《演習》 体位交換の具体的な方法 移乗の介助 車いすの介助など
⑧ 食事に関連したこころと からだのしくみと自立に向け た介護	6	6		食事に関する基礎知識 食事環境の整備と用具の活用方法 楽しい食事を阻害する要因と支援方法 食事と社会参加の留意点と支援 《演習》 食事介助支援方法など
⑨ 入浴、清潔保持に関連した こころとからだのしくみと 自立に向けた介護	6	6		入浴と清潔保持に関する基礎知識 入浴と整容の用具の活用方法 楽しい入浴を阻害する要因と支援方法 《演習》 入浴支援方法など
⑩ 排泄に関連したこころと からだのしくみと自立に向け た介護	6	6		排泄に関する基礎知識 排泄環境の整備と用具の活用方法 爽快な排泄を阻害する要因と支援方法 《演習》 おむつ交換方法など

⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5	5		睡眠に関する基礎知識 睡眠環境と用具の活用方法 快い睡眠を阻害する要因と支援方法 《演習》 グループディスカッション 発表
⑫ 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5	5		終末期に関する基礎知識 生から死への過程とところの理解 苦痛の少ない死への支援と他職種との連携 《演習》 グループディスカッション 発表
ウ、生活支援技術演習				
⑬ 介護過程の基礎的理解	6	6		科学的思考と介護過程 介護過程の展開に必要な構成要素 《演習》 グループディスカッション 発表
⑭ 総合生活支援技術演習	6	6		事例 《グループディスカッション》 検討・発表
(合計時間数)	75	75	0	

使用する機器・備品等	公益財団法人介護労働安定センター 介護職員初任者研修テキスト パワーポイント 福祉用具
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号173

商号又は名称：公益社団法人大阪聴力障害者協会

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	① 復習			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	2	2		今後継続して学ぶこと 在宅、施設の1日の流れ、制度の知識、職業倫理を理解する。
② 就業への備えと研修修了後における事例	2	2		継続的に学ぶべきこと 介護職の仕事内容や働く現場、事業所について ヘルパーとして心構えを学ぶ。
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	公益財団法人介護労働安定センター 介護職員初任者研修テキスト
------------	--------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。